

## 令和2年広島県産業連関表経済波及効果分析ツール 使用方法

### 1 準備作業

#### (1) 「利用上の注意」の確認

令和2年広島県産業連関表経済波及効果分析ツールを利用して正しい分析結果を作成するために、最低限必要となる事項をまとめたものです。利用前に必ずお読みください。

#### (2) 分析ツールの選択

次の4種類の分析ツールから選択します。

ツール	ツールの説明
①需要拡大による波及効果	本分析ツールの標準ツールです。 分析対象は県内の消費、投資等の需要増加がもたらす県内への経済波及効果です。
②企業誘致による波及効果	上記「①需要拡大による波及効果」に、企業の生産増加額の入力枠を追加したツールです。 分析対象は、県内の企業等が機械等の設備投資を行い、生産が増加した場合（新たに操業した場合）の県内への経済波及効果です。 誘致企業が初期投資を行い（＝最終需要増加額）、操業を開始した場合の経済波及効果を試算できます。
③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）	分析対象は、県内の観光・イベント等の需要増加がもたらす県内への経済波及効果です。 上記「①需要拡大による波及効果」と同様に、観光消費額＝需要増加額を入力し試算するためのツールですが、それぞれの産業区分に合った品目を例示し、入力できるようにしています。また、産業区分の情報が把握できない場合でも、全体消費額のみ把握可能なケースや人数のみ把握可能なケースに対応できるよう、消費品目の全国平均値を基に按分を行い、「入力シート」への数値を推計できるシートを用意しています。
④大規模建設プロジェクトによる波及効果	分析対象は、県内で公共事業等の建設投資が行われた場合の経済波及効果です。 建設事業の種類に応じて原材料投入額を算出し、それらを最終需要額の各産業区分に投入することによって、各種建設事業や公共事業の種類別の経済波及効果を試算できます。

## 2 分析ツールの構成

分析ツールは以下のワークシートから構成されており、「入力シート」に入力すると、結果が「総括表」、「フロー図」、各詳細表（「1次効果」、「2次効果」、「総合効果」）に試算されます。

シート	シートの説明
(1) 入力シート	分析タイトル、最終需要増加額内訳、消費転換率、表示単位及び分析事項のメモ欄の各項目について入力するためのシート（分析タイトルや分析事項のメモ欄は省略可能です。）
(2) 観光消費支出額推計シート	※「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」のみ 産業部門別の消費支出額（＝需要増加額）の把握が困難な場合に、全国平均値に基づく按分・積上げ手法により需要額を推計するためのシート
(3) 総括表	分析結果の概要をまとめたシート
(4) フロー図	経済波及の流れ及び波及効果の算出に用いた数式を確認できるシート
(5) 1次効果	直接効果及び間接1次波及効果までの計算結果を産業部門別にまとめたシート
(6) 2次効果	直接効果と間接1次波及効果の合算から間接2次波及効果までの計算結果を産業部門別にまとめたシート
(7) 総合効果	直接効果、間接1次波及効果及び間接2次波及効果を合算したシート
(8) 各種係数	計算の過程で使用する「商業マージン率」、「運輸マージン率」、「県内自給率」、「就業係数」、「雇用係数」、「粗付加価値率」、「雇用者所得率」、「民間消費支出構成比」の各種係数をまとめたシート
(9) 投入係数	投入係数行列
(10) 逆行列（IM）	開放型逆行列係数行列（ $[I-(I-M)A]^{-1}$ 型）
(11) 逆行列（IM 外生化）	※「②企業誘致による波及効果」のみ 外生化した開放型逆行列係数行列（ $[I-(I-M)A]^{-1}$ 型）
(12) 建設係数	※「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」のみ 令和2年（2020年）建設部門分析用産業連関表（国土交通省）から算出した一般分類建設部門投入係数表

### 3 「①需要拡大による波及効果」ツール分析作業手順

#### (1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図1】「①需要拡大による波及効果」ツールの「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の3パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、工場等の出荷価格で積算した場合）

※ 必ず a～c のいずれか 1 列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格（消費者が購入する際に支払う価格）から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響しません。

【図1】「①需要拡大による波及効果」ツールの「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

エ 単位をプルダウンで選択します。

イ 需要の増加を次の3パターンから選択し、該当する列(D列、E列、F列)のいずれか)に入力します。  
 a 県内産・県外産の区分が不明な場合(購入者価格) …D列に入力  
 (需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合)  
 b 県内産の需要のみ(購入者価格) …E列に入力  
 (需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合)  
 c 県内産の需要のみ(生産者価格) …F列に入力  
 (需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、かつ生産者価格が分かる場合)

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

① 需要増加額を該当する産業部門に直接入力  
 分析タイトル: 県内で県内産の自動車に対する需要が100億円増加した場合の経済波及効果

② 消費転換率の値をリストから選択  
 選択した値: 0.490763  
 プルダウンで下記のリストから選択

広島市消費転換率	令和6年	0.490763
	令和5年	0.545417
	令和4年	0.508427
	令和4年-令和6年平均	0.514282
中国地方消費転換率	令和6年	0.574741
	令和5年	0.544813
	令和4年	0.560323
	令和4年-令和6年平均	0.559864

※消費転換率=消費支出/実収入(家計調査年報による。)  
 ※広島市から離れた場所の波及効果を求める際は、中国地方の値を選択してください。

③ 単位をリストから選択  
 選択した値: 億円  
 プルダウンで下記のリストから

億円	100
千万円	10
百万円	1
100	0.1
万円	0.01
千円	0.001
円	0.000001

④ 分析事項のメモ欄  
 県内で県内産の自動車に対する需要(売上額)が100億円増加した場合、最終的に県内の産業にどれだけ影響があるか。  
 想定: 県内産の自動車の売上額が100億円増加  
 =県内需要のみ(購入者価格)に100億円を計上  
 (〇月〇日)

45部門	県内産・県外産の区分不明	最終需要増加額内訳 県内産の需要のみ(購入者価格)	県内産の需要のみ(生産者価格)	増加額合計	増加額合計(生産者価格)=直接効果
01 農林漁業					
06 鉱業					
11 飲食料品					
14 繊維製品					
15 衣服・その他の繊維製品					
16 木材・木製品					
17 家具・装備品					
18 パルプ・紙・板紙・加工紙					
19 印刷・製版・製本					
20 化学製品					
21 石油・石炭製品					
22 プラスチック製品					
23 ゴム製品					
24 なめし革・革製品・毛皮					
25 窯業・土石製品					
26 鉄鋼					
27 非鉄金属					
28 金属製品					
29 はん用機械					
30 生産用機械					
31 業務用機械					
32 電子部品					
33 電気機械					
				100.0	88.4
					9.7
					2.0
				100.0	100.0

入力シート 総括表 フォー図 1次効果 2次効果 総合効果 各種係数 投入係数 逆行列(IM) +

入力シート 入力項目を集約  
 出力シート 計算セルを集約  
 係数シート 数値データのみ

(2) 総括表等出力作業

「総括表」に分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、各詳細表（「1次効果」、「2次効果」、「総合効果」）をご覧ください。

【図2】「①需要拡大による波及効果」ツールの「総括表」

令和8年3月12日

**総括表**

分析事例  
**県内で県内産の自動車に対する需要が100億円増加した場合の経済波及効果**

1 分析事項のメモ欄

県内で県内産の自動車に対する需要（売上額）が100億円増加した場合、最終的に県内の産業にどれだけ影響があるか。  
 想定：県内産の自動車の売上額が100億円増加  
 =県内需要のみ（購入者価格）に100億円を計上  
 (〇月〇日)

2 当初設定 (単位：億円、率)

県内最終需要増加額(生産者価格)＝直接効果	100.0
広島市消費転換率(令和6年)	0.490763

※ 消費転換率：(＝消費支出÷実収入) 令和6年家計調査年報による。

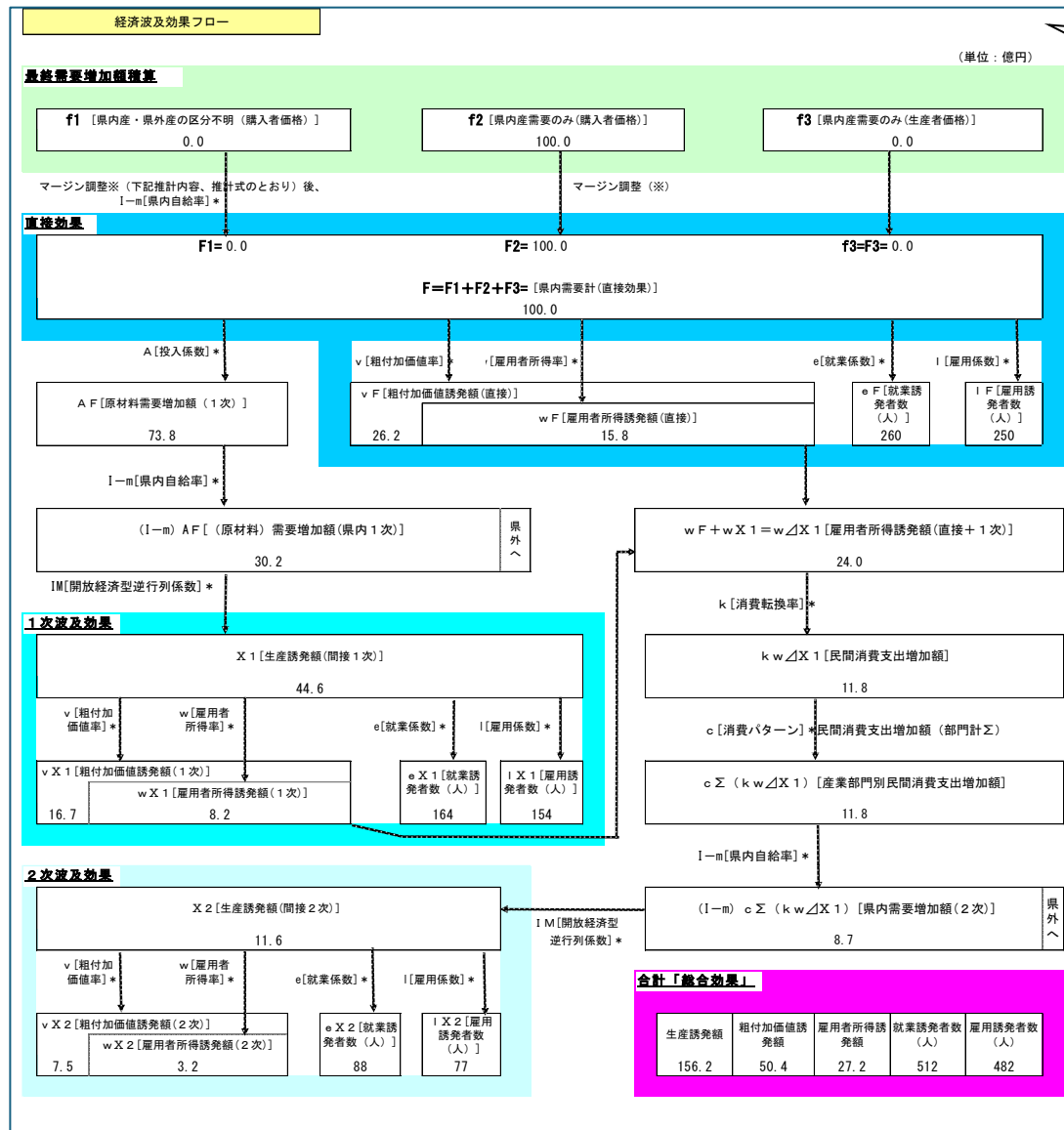
3 分析結果 (単位：億円)

経済波及効果の測定結果

種別	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計(総合効果)
生産誘発額	100.0	44.6	11.6	156.2
租付加価値誘発額	26.2	16.7	7.5	50.4
雇用者所得誘発額	15.8	8.2	3.2	27.2
就業誘発者数	260	164	88	512
雇用誘発者数	250	154	77	482

出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。  
 日付:エクセル関数を利用  
 分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示  
 結果データ:フロー図のデータをリンク表示  
 グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

【図3】「①需要拡大による波及効果」ツールの「フロー図」



総括表、経済波及効果フロー図やその他各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは総括表と経済波及効果フロー図がA4縦1枚、各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)がA4横1枚で設定されています。

#### 4 「②企業誘致による波及効果」ツール分析作業手順

##### (1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図4】「②企業誘致による波及効果」ツールの「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の4パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、工場等の出荷価格で積算した場合）

d 操業開始により新たに生産した場合又は生産が増加した場合

※ 必ず a~d のいずれか 1 列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格（消費者が購入する際に支払う価格）から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響しません。

【図4】「②企業誘致による波及効果」ツールの「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

エ 単位をプルダウンで選択します。

イ 需要の増加を次の4パターンから選択し、該当する列(D列、E列、F列、H列のいずれか)に入力します。  
 a 県内産・県外産の区分が不明な場合(購入者価格) …D列に入力(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合)  
 b 県内産の需要のみ(購入者価格) …E列に入力(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合)  
 c 県内産の需要のみ(生産者価格) …F列に入力(需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、かつ生産者価格が分かる場合)  
 d 操業開始により新たに生産した場合、生産が増加した場合

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

① 需要増加額及び生産増加額を該当する産業部門に直接入力  
 分析タイトル: 電機機械メーカーの誘致による経済波及効果

② 消費転換率の値をリストから選択  
 選択した値: 0.490763

③ 単位をリストから選択  
 選択した値: 億円

④ 分析事項のメモ欄

45部門	県内産・県外産の区分不明	県内産の需要のみ(購入者価格)	県内産の需要のみ(生産者価格)	合計	生産増加額又は操業にかかる生産額
01 農林漁業					
06 鉱業					
11 飲食料品					
14 繊維製品					
15 衣服・その他の繊維製品					
16 木材・木製品					
17 家具・装備品					
18 パルプ・紙・板紙・加工紙					
19 印刷・製版・製本					
20 化学製品					
21 石油・石炭製品					
22 プラスチック製品					
23 ゴム製品					
24 なめし革・革製品・毛皮					
25 窯業・土石製品					
26 鉄鋼					
27 非鉄金属					
28 金属製品					
29 はん用機械					
30 生産用機械			40.0		
31 業務用機械					
32 電子部					
33 電気機					
34 情報通					
35 自動車					
36 船舶・					
37 その他					
38 その他					
41 建設					
46 電気					
47 水道					
48 廃棄物					
51 商業					
53 金融					
55 不動産					
57 運輸					
58 情報通					
61 公務					
63 教育					
64 医療					
65 他に分					
66 対事業					
67 対個人					
68 事務用					
69 分類不					
増加額					100.0

消費転換率リスト:

広島市消費転換率	令和6年	0.490763
	令和5年	0.545417
	令和4年	0.508427
	令和4年-令和6年平均	0.514262
中国地方消費転換率	令和6年	0.574741
	令和5年	0.544813
	令和4年	0.560323
	令和4年-令和6年平均	0.559964

消費転換率 = 消費支出 / 実収入 (家計調査年報による。)  
 ※ 広島市から離れた場所の波及効果を求める際は、中国地方の値を選択してください。

単位調整係数リスト:

億円	
千万円	0.1
百万円	0.01
十万円	0.001
万円	0.000001

分析事項のメモ欄:

電機機械メーカーの工場の立地に伴い  
 初期投資: 工場建設費100億円、製造機械設備購入費40億円、  
 機械設備リース5億円、土木設計(建築サービス)5億円  
 の需要(購入者価格)が発生し、ならびに  
 新たな生産活動: 電機機械生産額100億円が発生する場合の  
 経済波及効果を試算した。(〇月〇日)

総括表: 入力シート | 総括表 | フォー図 | 1次効果 | 2次効果 | 総合効果 | 各種係数 | 投入係数 | 逆行列(IM) | 逆行列(IM外生化)

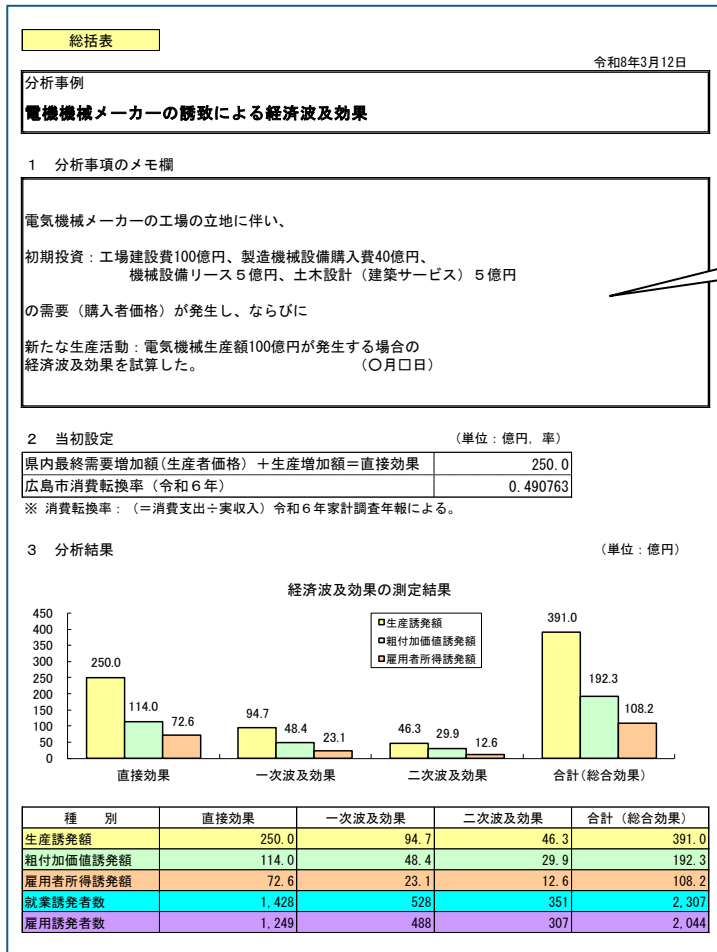
入力シート: 入力項目を集約  
 出力シート: 計算セルを集約  
 係数シート: 数値データのみ

(2) 総括表等出力作業

「総括表」に分析結果の概要が出力されます。

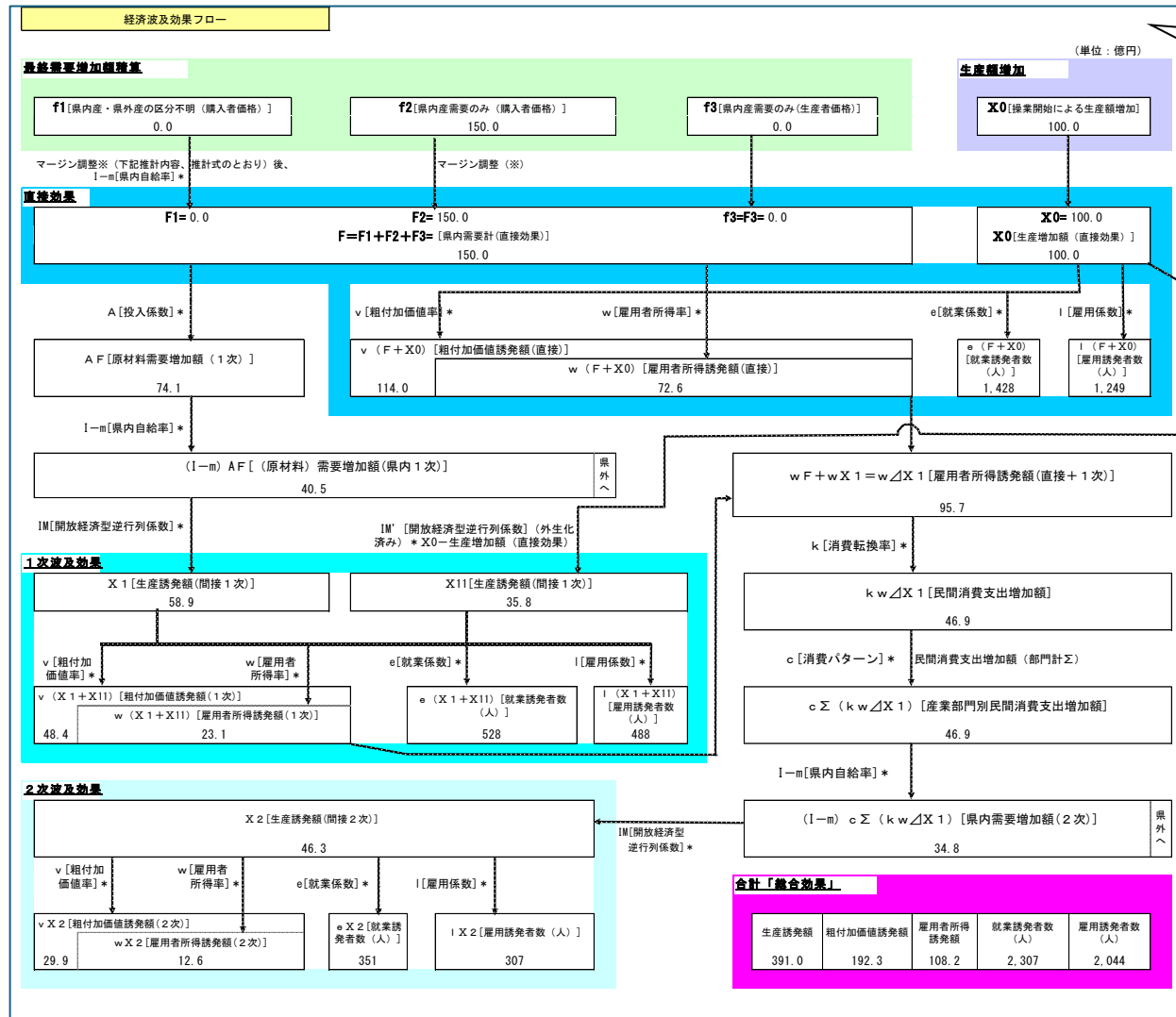
分析結果の詳細は、「フロー図」、各詳細表（「1次効果」、「2次効果」、「総合効果」）をご覧ください。

【図5】「②企業誘致による波及効果」ツールの「総括表」



出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。  
日付：エクセル関数を利用  
分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率：入力シートからリンク表示  
結果データ：フロー図のデータをリンク表示  
グラフ表示元データ：このシート内の結果データ

【図6】「②企業誘致による波及効果」ツールの「フロー図」



総括表, 経済波及効果フロー図やその他各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)を印刷し, 確認してください。初期設定の印刷サイズは総括表と経済波及効果フロー図がA4縦1枚, 各詳細表(1次効果, 2次効果, 総合効果)がA4横1枚で設定されています。

## 5 「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツール分析作業手順

### (1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。（【図7】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツールの「入力シート」参照）

ア 分析タイトルを入力します。

イ 下の赤枠の中に、産業部門ごとの需要増加額を数値で入力します。

入力の際には、次の3パターンの中から選択し、該当する列に入力します。

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが広島県内産か県外産か分からない場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれる場合で、店舗の販売価格で積算した場合）

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格）

（需要の増加に対して新たに供給される財・サービスがすべて広島県内産でまかなわれ、かつ工場等の出荷価格で積算した場合）

※ 必ずa～cのいずれか1列に入力してください。

※ 生産者価格とは、生産者の出荷時の価格のことをいい、購入者価格（消費者が購入する際に支払う価格）から商業マージン、運輸マージンを差し引いた価格になります。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は2次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響されません。



## カ 観光消費支出額の推計

観光消費額について産業部門別の需要額の把握が困難な場合、「観光支出消費額推計シート」を利用し、全国平均値に基づく按分・積上げ手法により産業部門別の需要額を推計することができます。【図8】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツールの「観光消費額推計シート」参照

### （ア）入力シート

次の①から③のいずれか一つに入力します。

#### ① 消費支出額の内訳（交通費、宿泊費など）が把握できる場合

消費支出額を宿泊客、日帰り客ごとに、内訳（交通費、宿泊費など）を入力します。（単位：百万円）

#### ② 消費支出額の合計額のみ把握できる場合

消費支出額の合計額を宿泊客、日帰り客ごとに入力します。（単位：百万円）

※ 消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。

#### ③ 来場者数のみ把握できる場合

来場者数（人数）を宿泊客、日帰り客ごとに入力します。（単位：人）

### （イ）出力シート

出力シートには、入力シートで入力した数値から産業連関表の45部門に対応した消費支出額が出力されます。

※ 45部門の消費支出額は、出力シートの赤枠内（D35セル～D79セル）に表示されます。

### （ウ）出力された消費支出額を、観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート「入力シート」へ貼り付け

出力シートの赤枠内（D35セル～D79セル）を選択してコピーし、【図7】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）シート」の「入力シート」内の最終需要増加額（D列～F列のいずれか）へ貼り付ける。

※ 需要の増加に対して新たに供給される財・サービスが、

a 県内産・県外産の区分が不明な場合（購入者価格） → 「入力シート」D列へ貼り付け

b 県内産の需要のみの場合（購入者価格） → 「入力シート」E列へ貼り付け

c 県内産の需要のみの場合（生産者価格） → 「入力シート」F列へ貼り付け

【図8】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツールの「観光消費額推計シート」

### 産業部門別観光消費支出額の推計

観光消費額について産業部門別の需要額の把握が困難な場合、次のシートを用いて、全国平均値に基づく按分・積上げ手法により需要額を推計することができます。出力された産業部門別の計算結果をコピーして「観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」の入力シートに貼り付けて使用してください。

- ・イベント来場者の県内消費支出は、全国国内旅行の旅行1人1回当たり消費額を用いて推計します。
- ・来場者の消費支出額は来場の旅行中の費用を対象とし、旅行前後の費用等を含まないものとします。
- ・宿泊者は全て県外者とみなし、交通費については全額の1/2として計算します。また、日帰り者は全て県内者として交通費の全額を計上します。

○入力シート ①から③のいずれか一つに入力してください。（赤欄内に数値を入力）  
 ※消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。

①消費支出額の内訳（交通費、宿泊費など）が把握できる場合 … 消費支出額を内訳ごとに入力 (百万円)

	交通費	宿泊費	飲食費	土産代・買い物代等	入場料・施設利用料	その他	消費支出額合計
宿泊客							0
日帰り客							0

②消費支出額の合計額のみ把握できる場合 … 消費支出額の合計額を入力 (百万円)

	消費支出額合計
宿泊客	
日帰り客	

※消費支出額は1人当たりの金額ではなく、人数を掛けた合計額を入力してください。

③来場者数のみ把握できる場合 … 来場者数（人数）を入力 (人)

	来場者数
宿泊客	
日帰り客	

○出力シート

・赤枠内（D35～D79セル）をコピーして、入力シートの最終需要増加額欄（D～F列のいずれか）に貼り付けて利用してください。

産業連関表 部門分類（45部門）	消費支出額 (百万円)
01 農林漁業	0.0
06 鉱業	0.0
11 飲食料品	0.0
14 繊維製品	0.0
15 衣服・その他の繊維製品	0.0
16 木材・木製品	0.0
17 家具・装飾品	0.0
18 パルプ・紙・板紙・加工紙	0.0
19 印刷・製版・製本	0.0

赤枠内(D35～D79セル)をコピーして、入力シートの最終需要増加額欄(D～F列のいずれか)に貼り付けて利用してください。

2 出力シートは、入力した数値から産業連関表の45部門に対応した消費支出額が表示されますので、赤枠内(D35～D79セル)を範囲指定して選択しコピー、入力シートへの貼付け(D列、E列、F列のいずれか)を行ってください。

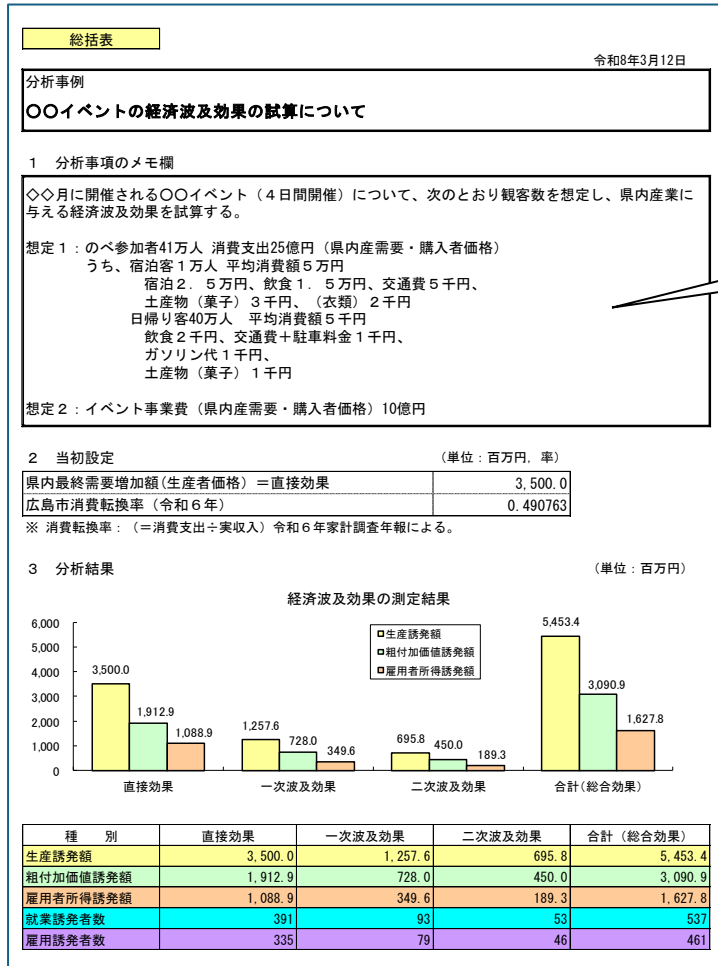
1 数値を入力します。  
 金額(消費支出額)、人数(来場者数)の把握の可否により、  
 ①消費支出額の内訳が把握できる場合、  
 ②消費支出額の合計額のみ把握できる場合、  
 ③来場者数のみ把握できる場合、  
 の3つのパターンから選択し、入力します。  
 (いずれか一つに入力します。)

(2) 総括表等出力作業

「総括表」に分析結果の概要が出力されます。

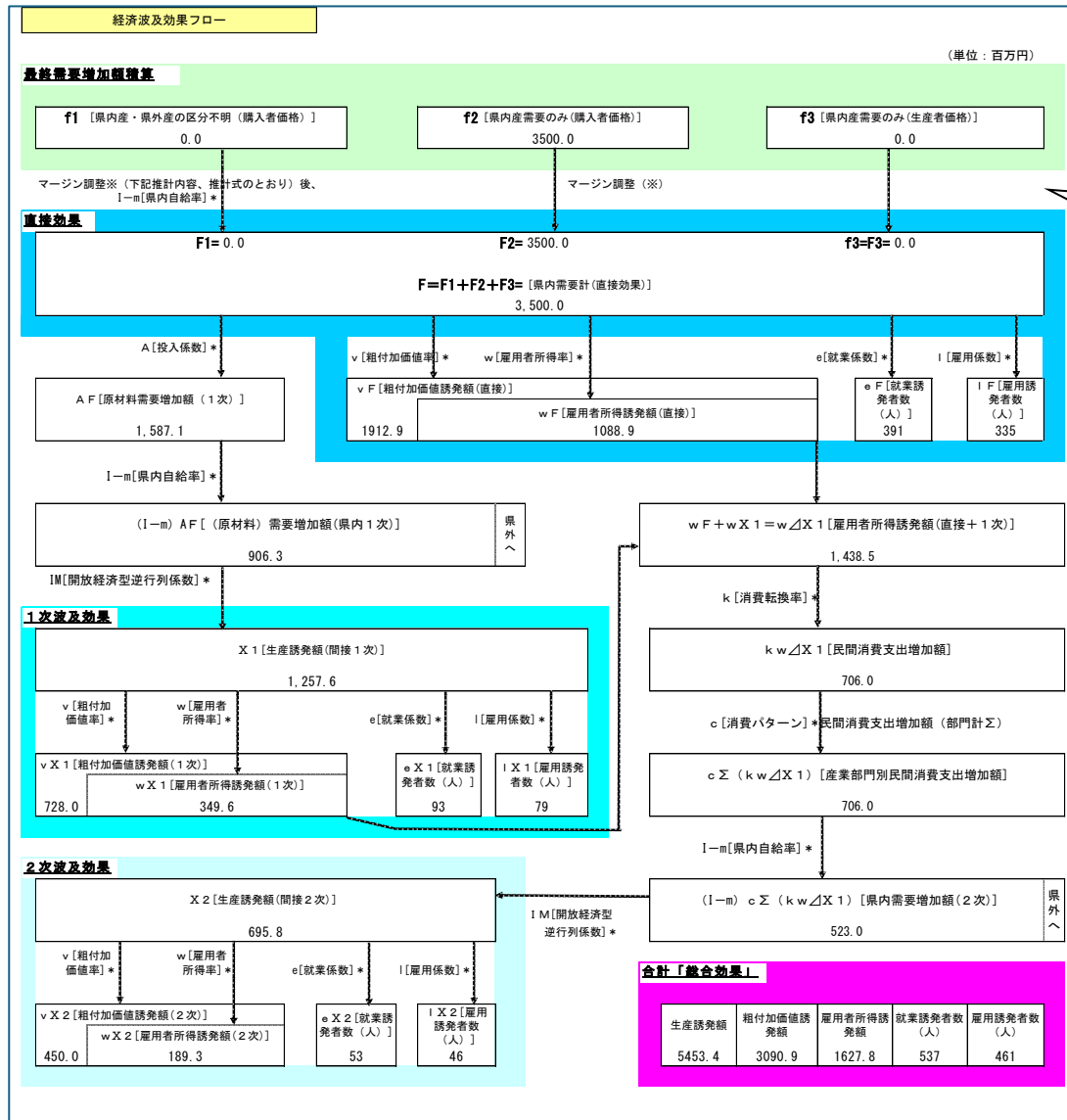
分析結果の詳細は、「フロー図」、各詳細表（「1次効果」、「2次効果」、「総合効果」）をご覧ください。

【図9】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツールの「総括表」



出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。  
日付:エクセル関数を利用  
分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示  
結果データ:フロー図のデータをリンク表示  
グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

【図10】「③観光客増加による波及効果（イベント波及効果）」ツールの「フロー図」



総括表、経済波及効果フロー図やその他各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは総括表と経済波及効果フロー図がA4縦1枚、各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)がA4横1枚で設定されています。

## 6 「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」ツール分析作業手順

### (1) 入力作業

「入力シート」に必要事項を入力します。(【図 11】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」ツールの「入力シート」参照)

ア 分析タイトルを入力します。

イ 最終需要増加額欄を入力します。事業分類、最終需要増加額内訳、オプションから構成されています。

事業分類はプルダウンから選択します。各事業分類の種類・説明は下の事業分類表を参照してください。

最終需要増加額は金額を「1. 工事費 (土木・建築)」、「2. 調査・設計費」、「3. 事務費 (公共事業の場合)」にそれぞれ入力します。

「2. 調査・設計費」に県外需要が含まれる場合 (例：県外の業者に設計を委託する場合) は、オプションを「有」にします。

※ 事業分類は、建設部門を工事種別などにより 71 種類に分類しています。分類内容は、令和 2 年建設部門分析用産業連関表 (国土交通省) の基本分類建設部門取引額表 (71 部門) に基づいています。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

※ 消費転換率とは、消費支出を実収入で除したもので、その値は 2 次波及効果の算出に影響します。

※ 本シートでは広島市と中国地方の値から選択するようになっています。広島市から離れた場所における波及効果を求める際には、中国地方の値を選択してください。

エ 単位をプルダウンで選択します。

オ 分析事項のメモ欄は、必要に応じ、記入します。

※ メモ欄の内容は、総括表に複写されます。

※ 記入がなくても、計算結果には影響されません。

【図 11】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」ツールの「入力シート」

ア 分析タイトルを入力します。

令和2年広島県産業連関表経済波及効果  
☆入力シート『①～④の各欄の赤枠白地に  
ルール  
所に、文字or数字を入力またはプルダウンでリストから選  
択してください。』

①最終需要増加額入力 タイトル: 道路改良事業 単位: 億円

No.	事業分類	最終需要増加額内訳			オプション	増加額 合計
		1. 工事費 (土木・建築)	2. 調査 ・設計費	3. 事務費(公 共事業の場合)		
34	道路改良	50.0	10.0	有	60.0	

プルダウンで下の事業分類表から選択してください。

No.	事業の種類	分類説明
1	建設	全部門平均
2	建築	建築平均
3	住宅建築	住宅建築(木造)平均
4	住宅建築(木造)	住宅建築(木造): 木造在来住宅
5	木造在来住宅	住宅建築(木造): 木造重産住宅
6	木造重産住宅	住宅建築(非木造)平均
7	住宅建築(非木造)	住宅建築(非木造): SRC住宅
8	SRC住宅	
9	R/C住宅	
10	R/C在来住宅	
11	R/C重産住宅	
12	S住宅	
13	S在来住宅	
14	S重産住宅	
15	C/B住宅	
16	非住宅建築	
17	非住宅建築(木造)	
18	木造工場	
19	木造事務所	
20	非住宅建築(非木造)	
21	SRC工場	
22	SRC事務所	
23	R/C工場	
24	R/C学校	
25	R/C事務所	
26	S工場	
27	S事務所	
28	C/B非住宅	
29	建築補修	建築補修
30	土木	土木平均
31	公共事業	公共事業平均
32	道路関係公共事業	道路関係公共事業平均
33	道路	道路平均
34	一般道路	一般道路平均
35	道路改良	一般道路: 道路改良
36	道路舗装	一般道路: 道路舗装
37	道路橋梁	一般道路: 道路橋梁
38	道路補修	一般道路: 道路補修
39	街路改良	一般道路: 街路改良
40	街路舗装	一般道路: 街路舗装

イ 事業分類はプルダウンから選択します。  
事業分類の種類・説明は下の事業分類表を参照してください。  
最終需要増加額は金額を「1. 工事費(土木・建築)」、「2. 調査・設計費」、「3. 事務費(公共事業の場合)」にそれぞれ入力します。  
「2. 調査・設計費」に県外需要が含まれる場合(例: 県外の業者に設計を委託する場合は、オプションを「有」にします。

ウ 消費転換率の値をプルダウンで選択します。

消費転換率の値をリストから選択

消費転換率	令和6年	令和5年	令和4年	令和4年-令和6年平均
広島市消費転換率	0.490763	0.545417	0.560323	0.539664
中国地方消費転換率	0.490763	0.545417	0.560323	0.539664

消費転換率の値をプルダウンで選択します。

エ 単位をプルダウンで選択します。

単位をリストから選択

単位調整係数	億円	千万円	百万円	千円
100	100	10	1	0.1

エ 単位をプルダウンで選択します。

④ 分析事項のメモ欄

道路改良事業の経済波及効果を分析した。  
区間: A市B町~C市D町までの〇〇km区間における工事  
〇年〇月〇日工事

オ メモ欄は記入すると総括表に複写されます。

入力シート 総括表 フォー図 1次効果 2次効果 総合効果 各種係数 投入係数 逆行列(IM) 建設係数 +

入力シート 入力項目を集約  
出力シート 計算セルを集約  
係数シート 数値データのみ

(2) 総括表等出力作業

「総括表」に分析結果の概要が出力されます。

分析結果の詳細は、「フロー図」、各詳細表（「1次効果」、「2次効果」、「総合効果」）をご覧ください。

【図 12】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」ツールの「総括表」

令和8年3月12日

**総括表**

分析事例  
**道路改良事業**

1 分析事項のメモ欄

道路改良事業の経済波及効果を分析した。  
 区間：A市B町～C市D町までの〇〇km区間における工事  
 〇年〇月着工事業

2 当初設定 (単位：億円、率)

県内最終需要増加額(生産者価格)＝直接効果	59.3
広島市消費転換率(令和6年)	0.490763

※ 消費転換率：(＝消費支出÷実収入) 令和6年家計調査年報による。

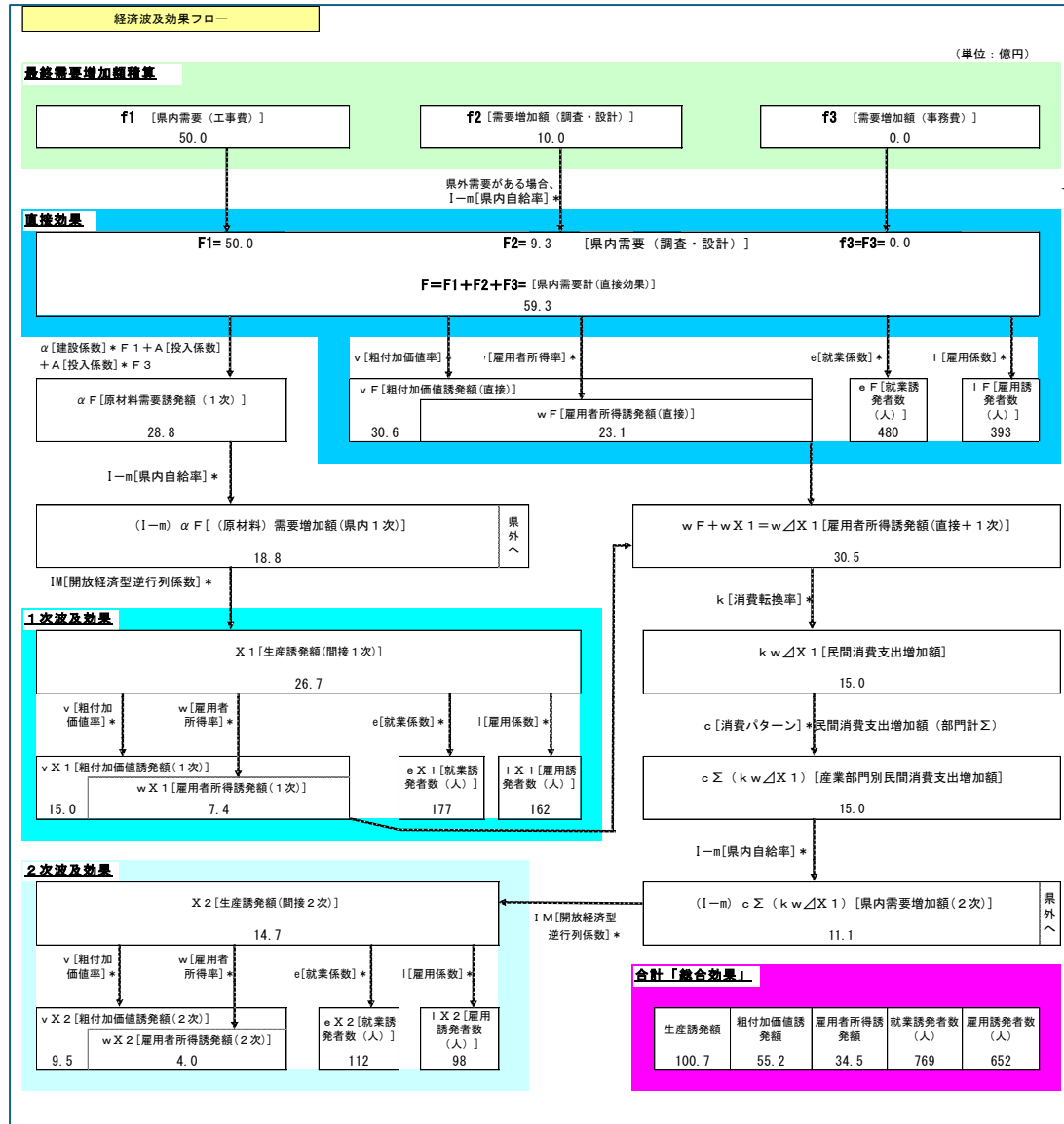
3 分析結果 (単位：億円)

経済波及効果の測定結果

種別	直接効果	一次波及効果	二次波及効果	合計(総合効果)
生産誘発額	59.3	26.7	14.7	100.7
粗付加価値誘発額	30.6	15.0	9.5	55.2
雇業者所得誘発額	23.1	7.4	4.0	34.5
就業誘発者数	480	177	112	769
雇用誘発者数	393	162	98	652

出力シート内のデータは、全て自動で計算されます。  
 日付:エクセル関数を利用  
 分析事例、分析事項のメモ欄、単位、消費転換率:入力シートからリンク表示  
 結果データ:フロー図のデータをリンク表示  
 グラフ表示元データ:このシート内の結果データ

【図13】「④大規模建設プロジェクトによる波及効果」ツールの「フロー図」



総括表、経済波及効果フロー図やその他各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)を印刷し、確認してください。初期設定の印刷サイズは総括表と経済波及効果フロー図がA4縦1枚、各詳細表(1次効果、2次効果、総合効果)がA4横1枚で設定されています。